

寺田寅彦没後80周年記念

親愛なる寺田先生 ～師・寺田寅彦と中谷宇吉郎展～ から

本年度の秋季研究会を高知県立文学館で開催の標題に協力者として参加すると共に、講師の神田健三様（中谷宇吉郎雪の科学館友の会会長）の「雪と氷のふしぎ実験」の公開に先んじて友の会会員がいろいろな現象を体験することとして開催しました。

その内容を報告させていただきます。

12月12日（土）記念講演「寅彦と宇吉郎 師弟の交流」と題して前中谷宇吉郎雪の科学館館長神田健三様（現中谷宇吉郎雪の科学館友の会会長）の講演を拝聴しました。この内容は、文学館の主催ということで詳細は報告できませんが、下記の項目で講演をしていただきました。

（1）近年の出来事と、加賀・高知の企画展

2011東日本大震災 2012宇吉郎没後50年で宇吉郎・寅彦展 2014世界結晶年

（2）宇吉郎の子ども時代

（3）寅彦と宇吉郎の出会い

（4）宇吉郎の雪の研究

（5）絵とことば

12月13日（日）この日の午前中を寺田寅彦記念館友の会の秋季研究会として開催し、午後行われる「雪と氷のふしぎ実験 宇吉郎の雪と氷の研究を実際に体験してみよう！」の予備実験をしていただきながら、会員も体験し、お聞きしたいことなどに神田様からお答えをいただくこととして開催しました。

参加者数は、17名でしたが、一人一人が体験できる機会を得て、雪や氷の世界に感動することができました。その時の内容を下記に記します。



① 高知と加賀との交流

1995年4月15日に雪の科学館が開館して間もなく、高知から寺田寅彦記念館友の会の20名が加賀を訪問し、雪の科学館や中谷宇吉郎の墓などを見学し、2005年9月11日には、中谷宇吉郎雪の科学館友の会会員が高知を訪れ、寺田寅彦記念館や高知県立文学館などを訪問され、両友の会の交流が行われたことを紹介していただきました。

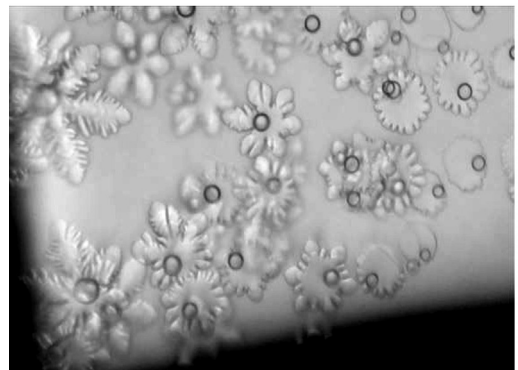
② モールドを使って氷のペンダント作りの体験

モールドという物の紹介をいただき、氷をモールドではさみ込むことにより、瞬く間に隙間がなくなり、モールドを外すと氷のペンダントが完成をしていました。



③ チンダル像の観察

四角い氷の表面のくもりを金属板に当てることによって透明の氷になることを見せていただいた後、シャーレに入れ、OHPの上に置く。光の強い熱の出るランプを当てることによって氷の中がとけ始め、丸い形や雪の結晶のような形ができて始め、次第に大きく成長していく様子を観察することができました。



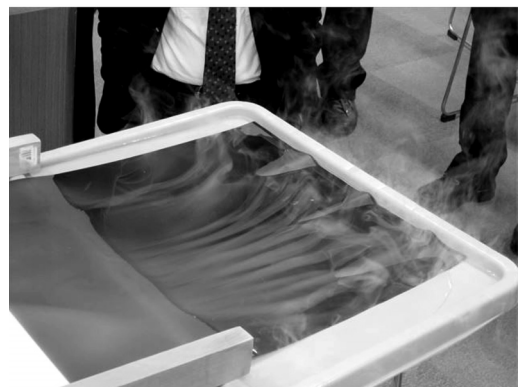
④ 氷のステンドグラスの鑑賞

チンダル像を見た氷を偏光板の上に置き、下から光を当て、もう一枚の偏光板で氷を観るとステンドグラスのように鮮やかな多彩な色の模様が浮びあがってきました。自然が作り出す芸術品を見た思いがしました。

⑤ 北西の季節風の観察

天気予報でよく見る雲の映像の中に、北西から南東に延びる筋雲の様な雲の動きをみるがあります。それを実際に見ることができる実験装置により、観察をすることができました。

ドライアイスを入れた水に入れることにより雲のような流れが生じ、その先3m先に、お湯を貯めた容器を置き、その上を雲のようなものが通過する時に、筋が生じ、衛星写真のような雲の動きを見ることができました。



この動きは、県立文学館において動画で鑑賞できる「渦巻の実験」と同じ原理のようです。以前、この「渦巻の実験」に携わられた方からお話を聞いたことですが、アルミ

の粉とアルコールの液体とでおりなす現象のようですが、なかなかその現象が生じないので、苦勞をしたという話を聞いたことがあります。今回、神田様は、ものの見事に私どもにその現象を見せてくださいました。

⑥ ダイヤモンドダストの鑑賞

マイナス25℃の中で生じるダイヤモンドダストを目の前で生じさせてくれました。

冷凍庫の中で光を当て、空気に衝撃を与えることによってダイヤモンドダストが発生をしました。実際でもなかなか見ることができない現象を、この高知で間近に見ることができたということで2重の感動を受けました。さらに、しゃぼん膜に氷晶（氷の結晶）が着く実験もしていただき、感動の連続を味わったことでした。

⑦ 中谷宇吉郎の研究

・中谷宇吉郎が携わった雪の研究について紹介をしていただきました。

⑧ 最後に、いろいろな雪の結晶を見せていただくとともに、谷川俊太郎の詩に合わせた曲を聴くことができ、雪と氷の余韻に浸りながら研究会を終了することができました。

13日の午後からは、神田健三様を講師として一般の方や小・中学生を対象とした「雪と氷のふしぎ実験」が開催され、寺田寅彦記念館友の会の会員は援助として参加をしました。40名を超える方が参加をされました。

「実験」が終了後、友の会の方々と、寺田寅彦の墓参に行きました。西久万のおもと会の方々がすでに墓掃除をしてくださっており、私たちとともに墓前に、イチゴやコーヒー、お花をお供えしてお参りをしてきました。



その時に、おもと会の方からもお墓について、墓碑が不鮮明になってきていることや周りの土が流されて

きていることなど、お墓について何らかの対処をしていく必要があるのではないかとのご指摘もいただきました。

以上、平成27年度秋季研究会と関連する内容について報告をさせていただきます。